

# 爆弾低気圧がもたらす気象・海象災害 の軽減に係るワークショップ

日時： 2013年 9月 4日 (水) 13:20~

場所： 九州大学箱崎キャンパス理系地区  
21世紀交流プラザⅡ 共通セミナー室



**KYUSHU**  
UNIVERSITY

問合せ先： 九州大学大学院理学研究院 川村隆一 (TEL 092-642-2680)

## ワークショップ2013 プログラム

■9月4日（水）（21世紀交流プラザⅡ 共通セミナー室）

\*発表15分、質疑応答5分

- 13:20~13:40 「プロジェクトの研究背景と研究計画」  
川村隆一（九州大学 大学院理学研究院）
- 13:40~14:00 「ALERAとTIGGEデータベースを用いた爆弾低気圧予測可能性研究」  
吉田 聡（海洋研究開発機構）
- 14:00~14:20 「非静力学大気海洋結合モデルCReSS-NHOESを用いた爆弾低気圧のシミュレーション」  
加藤雅也（名古屋大学 地球水循環研究センター）
- 14:20~14:40 「衛星データと衛星シミュレータSDSUを用いた雲解像モデルCReSSの雲微物理過程の問題点の抽出」  
篠田太郎（名古屋大学 地球水循環研究センター）
- 14:40~15:00 「冬季低気圧通過時に伴う日本海沿岸域での強風の高分解能数値シミュレーション」  
竹見哲也（京都大学 防災研究所）
- 15:00~15:20 「2013年3月2日道東地方における暴風雪の数値シミュレーション」  
川野哲也（九州大学 大学院理学研究院）
- 15:20~15:40 — 休 憩 —
- 15:40~16:00 「温帯低気圧によって発生した日本海高波浪の特性」  
松浦知徳（富山大学 大学院理工学研究部）
- 16:00~16:20 「爆弾低気圧に伴う高波の予測可能性」  
佐々木 巨（海洋研究開発機構）
- 16:20~16:40 「強風情報のための低気圧のカテゴリー化」  
飯塚 聡（防災科学技術研究所）
- 16:40~16:50 「富山における大雪の特徴と将来予測」  
初鹿宏壮（富山県環境科学センター）
- 16:50~17:10 「温暖化実験における強い低気圧の変化」  
水田 亮（気象研究所）
- 17:10~17:30 「創生プロ（革新プロの後継）の紹介」  
楠 昌司（気象研究所）
- 17:30~18:00 総合討論

\*ワークショップ終了後、懇親会（19時～）を予定しています。

